



慶應義塾大学教養研究センター

Hiyoshi Arts & Performance Project (HAPP)

新入生歓迎行事

松下里沙子ワークショップレクチャー No. 5



# 同じ顔で、 どこまで変わる？

— ナチュラルとステージメイクの境界線 —

メイクは顔を変えるのではなく、見え方を設計する行為である。本講演では、「同じ顔で、どこまで変わるのか？」をテーマに、ナチュラル、カメラメイク、舞台メイクを実演で比較しながら、見られる顔の構造を探ります。距離、光、カメラ、空間——環境が変わると、顔の設計も変わる。一人ひとりの個性を土台として活かしながら、場面に合わせて印象を設計するプロの思考とテクニックを体感する講演です。

2026.6.10 WED 16:30 — 18:30

日吉キャンパス来往舎 大会議室

講師 | 松下 里沙子 (メイクアップアーティスト、塾員)

コーディネーター | 小菅 隼人 (理工学部教授)

対象 | 塾生 — 塾生なら誰でも参加できます。特に新入生を歓迎します。



申し込みフォーム

<https://forms.gle/xgys1zSREjcQFcbZ6>

当日、映像による記録を行う場合があります。了承の上にお申込みください。許可のない写真、録音等を禁止します。

## PROFILE

松下 里沙子 (まつした りさこ) / メイクアップアーティスト。慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻卒業後、富士通株式会社の営業職を経て、「好きなことを仕事に」という思いで脱サラ。単身NYへ渡り、メイクアップアーティストとしての第二のキャリアをスタートさせる。NYでは、ランウェイのショーやCOACH、MARC JACOBS、MARNIをはじめとするファッションの広告撮影や、Elle、Harper's Bazaar、Marieclaireといった雑誌の撮影など、主にファッションやビューティの撮影現場で活躍。2021年東京に拠点を移し、ファッション・広告業界での撮影活動が続ける傍ら、山野美容専門学校通信課程を修了し、美容師免許を取得。メイクアップが外見だけでなく、内面にももたらすポジティブなエネルギーをより多くの人に伝えるべく、撮影以外にもメイクレッスン・セミナーを通して活動の場を広げている。

主催：慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会 (HAPP) 協力：shu uemura シュウウエムラ  
お問い合わせ：HAPP事務局 hy-happ@adst.keio.ac.jp 小菅隼人 (理工学部教授) hamlet@keio.jp